

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2006.1.1～1.31)

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』567号 (2006年2月)

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	32	32	64
受 贈	43	5	48
合 計	75	37	112

□閲覧サービス

閲覧

開館日数 19日

閲覧人員 12名

貸出図書 29冊

コピーサービス

学外 13件 841枚

学内 15件 1092枚

日 誌

9日 冬季休業終了

10日 仕事始め

書庫増設工事開始

11日 戦後労働運動研究会

テーマ：「各担当時期の収録資料について」

報告者：鈴木玲，早川征一郎

14日 労働政策研究会

テーマ：「国際労働基準から見た日本の労働政策」

報告者：堀内光子氏 (ILO駐日事務所代表)

18日 運営委員会

議題①次期運営委員について

②兼任研究員について

③嘱託研究員について

④研究員総会について

⑤その他

21日 加齢過程における福祉研究会

テーマ：「東京都第3次介護保険事業支援計画について－計画過程で問題となったこと，計画の特徴，課題と解決策」

報告者：瀬川裕之氏 (東京都福祉保健局高齢社会対策部計画課)

24日 事務会議

25日 研究員会議

月例研究会

テーマ：「『活憲』論研究序説」

報告者：五十嵐仁

戦後労働運動研究会

テーマ：「各担当時期の収録資料について」

報告者：鈴木玲，早川征一郎

31日 B3電動集密書架増設工事終了

大原社会問題研究所雑誌 No.570 (2006年5月号)

2006年5月25日発行

定価 1,000円 (本体952円)，年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

所長 相田利雄

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042 (783) 2307

投稿募集

本誌は社会・労働問題に対する論文、調査報告を募集しております。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

投稿規定

1. 投稿原稿は2部とし、ワープロ作成による未発表のものに限ります。
2. 原稿の分量は、原則として20,000字以内（図表を含む）とします。
3. 原稿には、審査に資するため、600字以内の要約を添付してください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。
5. 初めて投稿される方は、研究歴など簡単な履歴を添付してください。
6. 掲載原稿には、所定の原稿料をお支払いいたします。

【原稿送付先】

〒194-0298 東京都町田市相原4342
法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

論文執筆要領

論文を執筆される場合には、下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には、原則として原稿を返却しませんので、原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には、ある程度の行間を取って下さい。

1 一般的な原則

- ① 横書きとする。
- ② タイトル、氏名の次に簡単な目次をつける。
- ③ 原稿の最後に、執筆者名（ひらがな）、肩書き（所属、職名）を記入する。肩書きは大学の場合には、学部、研究所等の名称まで表記する。
- ④ 注をつける場合には、各章ごとに分割せず、最後に一括し、通し番号をつける。
- ⑤ 図、地図などは、可能な限りトレース済のものを提出する。

2 注記の方式

■日本語の図書・論文の場合

- A. 日本語で書かれた図書については、①著者名、②書名（書名は『 』で囲む）、③出版社名、④発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には、発行年の次に記入する。
- B. 著者が2人の場合には、両者の姓名を書く。3人以上の場合には、「——他」の方式も可とする。
- C. 論文については、①執筆者名、②論文名（「 」で囲む）、③掲載雑誌名（『 』で囲む）、④巻号、⑤発行年月日の順に書く。
- D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

■欧文の図書・論文の場合

- A. 欧文の図書については、①著者名、②書名、③発行地（あるいは出版社名）、④出版年を書く。書名は、イタリックにするので、下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。
- B. 論文の掲載雑誌名は、イタリックとする。
- C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。
- D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

以上